

公開
頭撮り不可

令和3年8月27日（金）
厚生労働省政策統括官付
政策統括室
担当者連絡先：神田 彩絵
03-3595-2159（直通）
03-5253-1111（内線 7694）

報道関係者各位

第154回市町村職員を対象とするセミナー 「ナッジ理論等の行動科学を活用した健康づくりの手法について ～具体的事例を交えて～」（オンライン会議）開催案内

平成11年4月から実施している市町村職員を対象とするセミナーにつきまして、令和3年度においては別紙1のとおり開催しているところです。この内、9月10日（金）に開催する第154回市町村職員を対象とするセミナーにつきまして、別紙2のとおり開催いたしますのでご案内します。

記

1. 日時

令和3年9月10日（金） 13:00～15:00

2. 場所

オンライン開催

事務局会場：厚生労働省政策統括官（総合政策担当）大会議室

（東京都千代田区霞が関1-2-2 中央合同庁舎第5号館11階国会側）

3. プログラム内容

別紙2のとおり

4. 傍聴者申込み要領

- 新型コロナウイルスの感染拡大の防止の観点から、オンラインで実施いたします。
- 傍聴の申込み締切は9月3日（金）までとします。
- 傍聴を希望される方は、傍聴申込票に必要事項を記載いただき、以下のアドレス宛に送付をお願いいたします。

メールアドレス：STSHAH02@mh.lw.go.jp

傍 聴 申 込 票：第 154 回市町村セミナー傍聴申込票

- 傍聴は YouTube(厚生労働省動画チャンネル)によるライブ配信を視聴いただく予定です。
- 傍聴希望者には、傍聴申込票に記載いただいたメールアドレスあてに前日までに資料及びライブ配信の URL を送付いたします。

5 . 傍聴される皆様への注意事項

- セミナーの映像及び音声の著作権は厚生労働省に属します。
- 配信している映像及び音声については、写真撮影、ビデオ撮影、録音をすることはできません。

以上

令和３年度「市町村セミナー」開催予定一覧

回目	開催予定	概要
	テーマ	
第１５２回	令和３年５月２８日（金）	令和３年度末までに全市区町村に整備が求められている中核機関の整備について、体制整備に係る基本的な考え方や整備パターン等をお示しするとともに、全国各地の実践報告を通じて、自治体規模ごとに、具体的かつ参考となる整備の進め方や工夫等についての情報提供を行う。
	成年後見制度利用促進における体制整備の実践 ～中核機関の整備パターンと具体的実践報告を通じて～	
第１５３回	令和３年６月１１日（金）	令和３年３月にとりまとめられた「精神障害にも対応した地域包括システムの構築に係る検討会」報告書において、精神障害の有無や程度にかかわらず、誰もが安心して暮らすことができるよう、市町村が主体となり、保健所や精神保健福祉センター等が連携し重層的な支援体制を構築することとされている。研修では、市町村、都道府県、保健所、精神保健福祉センター等の役割等について報告書の内容の行政説明を行い、補助事業、取組自治体例について紹介する。
	精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築における市町村の役割について	
第１５４回	令和３年９月１０日（金）	「健康寿命延伸プラン」においても、ナッジ等行動科学の手法を活用した自然に健康になれる環境づくりを推進することとしていることから、様々な事例等も踏まえ、手法の活用について説明等を行う。
	ナッジ理論等の行動科学を活用した健康づくりの手法について～具体的事例を交えて～	
第１５５回	令和３年１０月１日（金）	地域共生社会の実現に向けた属性横断の包括的な支援体制の整備に関し、国から各種制度の展開について説明を行うとともに、各自治体における取組状況・実践例の共有を行う。 特に、令和３年４月より施行されている重層的支援体制整備事業（ ）と、介護保険制度における地域支援事業を活用した地域づくりの取組について重点的に取り上げる。 （ ）社会福祉法第１０６条の４第２項に新設
	地域共生社会の実現に向けた包括的な支援体制の整備及び地域づくりの取組について	
第１５６回	令和３年１０月２９日（金）	・医療機関の機能分化、在宅医療や施設・居住系介護サービスの需要増等が進展する中で、患者が地域で様々な療養環境を移行するケースが増加している。 ・薬機法改正において、特定の機能を有する薬局の都道府県知事による認定制度が令和３年８月から施行され、地域包括ケアシステムの中で、かかりつけ薬剤師・薬局としての機能をより一層果たすことが期待される。 ・医療や介護において薬剤師・薬局と他職種との連携を推進するためには、薬局や介護サービス等を所管する都道府県と市区町村の行政間連携も重要となる。 ・このため、市町村の職員の方向けに、薬機法改正の内容を踏まえ、薬剤師・薬局が地域包括ケアシステムで果たす役割について説明するとともに、薬剤師・薬局と多職種連携の事例について共有を図る。
	地域包括ケアシステムにおける薬剤師・薬局の役割	

第 1 5 7 回	令和 4 年 1 月 2 8 日（金）	発達の子になる子どもについては、その特性を早期に発見し、適切な支援につなげることが重要であることから、発達障害の理解及び早期発見・早期支援に関する国の施策を説明するとともに、自治体の取組事例も含め、地域特性に応じた発達障害支援について共有を図る。
	子どもの発達障害の理解と早期発見・適切な支援について【P】	

このほか、法案の審議状況等によって、開催予定を追加する可能性があります。また、新型コロナウイルス感染症の状況等により、開催日等が変更される場合もあります。開催日については、セミナー開催の概ね 4 週間前を目途に発出を予定している都道府県宛事務連絡もしくは厚生労働省ホームページ内の市町村職員を対象とするセミナーのページをご確認ください。

第 1 5 4 回 市町村職員を対象とするセミナー

「ナッジ理論等の行動科学を活用した健康づくりの手法について
～ 具体的事例を交えて～」

1 日 時 令和 3 年 9 月 1 0 日 (金) 1 3 : 0 0 ~ 1 5 : 0 0

2 会 場 オンライン開催

3 プログラム

一 開会・挨拶 厚生労働省 健康局健康課 女性の健康推進室 室長 松村 漠志	13 : 00 (5 分)
二 解説 「ナッジ理論等の行動科学を活用した健康づくりの手法について ～ 具体的事例を交えて～」 課長補佐 溝田 友里 ・ 質疑応答	13 : 05 (30 分)
三 自治体における取組 取組 「高浜町：健康無関心層にまで届く健康づくりをめざして」 (元福井県高浜町保健課) 越林 いづみ - 休憩 (10 分) - 取組 「福岡市：人生 100 年時代を見据えたプロジェクト『福岡 100』」 福岡県福岡市保健福祉局総務企画部 課長(健康先進都市推進担当) 笠井 浩一 ・ 質疑応答	13 : 35 (30 分) 14 : 05 (10 分) 14 : 15 (30 分)
四 発表等に関する質疑応答・意見交換 進行 厚生労働省健康局健康課	14 : 45 (15 分)
五 閉会	15 : 00

ミーティングルームへの入室開始は、12 : 45 頃を予定しております。

進行には万全を期してまいります。場合により終了時間を超過する場合がございます。